



Epson Projector Management操作ガイド

マニュアル中の表示の意味 4

マニュアルの使い方と情報の探し方	5
キーワードで検索する	5
しおりから直接ジャンプする	5
必要なページだけ印刷する	5

Epson Projector Managementについて 6

Epson Projector Managementの機能	7
-------------------------------------	---

はじめてソフトウェアを使うときの準備 8

ソフトウェアをインストールする	9
システム動作条件	9
Epson Projector Management をインストールする	9
EasyMP Monitorの設定情報を移行する	10
プロジェクターを設定する	11
有線LANで接続するときの設定方法	11
無線LANで接続するときの設定方法	11

プロジェクターを登録する 13

プロジェクターを登録する	14
プロジェクターを検索する	14
プロジェクターをグループ登録する	16

プロジェクターの監視と制御 17

プロジェクターを監視する	18
温度履歴グラフを表示する	19
プロジェクターの詳細情報を確認する	21

プロジェクターを操作する	22
--------------------	----

ファームウェアの更新/メニューの一括設定 24

ファームウェアを更新する	25
ネットワーク経由でファームウェアを更新する	25
事前に入手したファームウェアに更新する	27
メニューを一括設定する	29
メニュー設定をダウンロードする	29
メニュー設定をコピーする	30

便利な機能を活用する 32

スケジュールを設定する	33
セキュリティを設定する	35
パスワードを設定する	35
ソフトウェアの使用を制限する	35
通知メールを送る	37
メッセージを配信する	38
手動でメッセージを配信する	38
特定の日にメッセージを配信する	39
Epson iProjection用プロファイルをエクスポートする	42
ログファイルを保存する	43
登録情報を更新する	44

困ったときに 45

ネットワーク接続に関するトラブル	46
プロジェクターが見つからない（有線LAN）	46
プロジェクターが見つからない（無線LAN）	46

監視と制御に関するトラブル	48
プロジェクターを監視・制御できない	48
異常が起きたときにメール通知されない	48
メッセージが配信されない	48
ファームウェア更新/メニュー一括設定に関するトラブル	50
ファームウェアを更新できない/メニューを一括設定できない	50

各画面の説明 51

メイン画面	52
アイコンの種類と意味	53
アップデートリスト	53
プロジェクタープロパティ画面	55
プロジェクタープロパティ - 情報	55
プロジェクタープロパティ - 状態履歴	56
プロジェクタープロパティ - 使用履歴	57
プロジェクタープロパティ - スケジュール	57
プロジェクタープロパティ - ステータス情報	58
プロジェクタープロパティ - Service	59
環境設定画面	60
環境設定 - 一般	60
環境設定 - 監視	61
環境設定 - リスト表示	61
環境設定 - メール	62

付録 64

ソフトウェアを更新、またはアンインストールする	65
ソフトウェアの最新バージョンを入手する	65
Epson Projector Managementをアンインストールする（Windows）	65
PJLinkの規格で監視・制御するときの制限事項	66
一般のご注意	67



ご注意	67
表記について	67
商標について	67
著作権について	67

マニュアル中の表示の意味



安全に関する表示

プロジェクターおよびマニュアルには、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [映像調整] メニューを選択する ☛ [画質] > [アドバンスト]
»	関連事項を記載しているページを示しています。
☛	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

» 関連項目

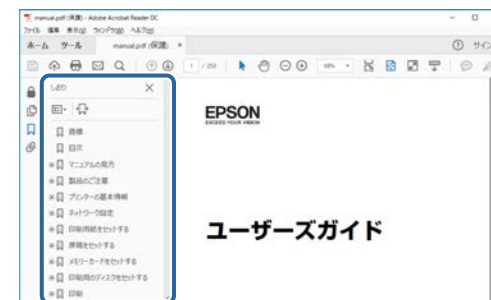
- ・「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.5](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

- ・「キーワードで検索する」 p.5
- ・「しおりから直接ジャンプする」 p.5
- ・「必要なページだけ印刷する」 p.5

- ・ Windows : [Alt] キーを押したまま [←] キーを押します。
- ・ Mac OS : commandキーを押したまま [←] キーを押します。



キーワードで検索する

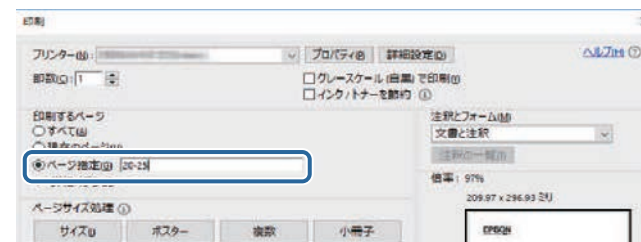
[編集] メニューの [高度な検索] をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード (語句) を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、[印刷するページ] の [ページ指定] で印刷したいページを指定します。

- ・ 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例 : 20-25
- ・ 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例 : 5,10,15



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。[+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

Epson Projector Managementについて

Epson Projector Managementの特長を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの機能」 [p.7](#)

Epson Projector Managementを使うと、ネットワーク上の複数のプロジェクターの状態を、コンピューターから監視・制御できます。

- ・ プロジェクターの監視

プロジェクターの電源や異常・警告の状態を、アイコンで視覚的に確認できます。特定のプロジェクターやグループを選択し、光源の累積点灯時間や、現在の入力ソース、異常・警告の内容などの詳細情報を確認することもできます。

- ・ プロジェクターの制御

特定のプロジェクターやグループを選択し、プロジェクター電源のオン/オフや入力ソースの切り替えなどができます。スケジュール機能を使って、決まった日時に自動でプロジェクターを制御することもできます。

- ・ ファームウェアの更新

プロジェクターのファームウェアを更新できます。新しいファームウェアが利用可能になると画面にメッセージが表示されます。また、コンピューターに保存したファームウェアファイルを使ってファームウェアを更新できます。ファームウェアを更新する日時を指定することもできます。

- ・ メニューの一括設定

1台のプロジェクターで設定したメニューの内容を、同じ型番の複数プロジェクターに一括コピーできます。

- ・ メール通知機能

プロジェクターに問題が発生したときや、別のプロジェクターへの置き換えが検知されたときに、メールで知らせるように設定できます。

- ・ メッセージ配信機能

複数のプロジェクターに画像やテキストメッセージを配信して投写できます。

- ・ 他社製プロジェクターの監視・制御

PJLink対応の他社製プロジェクターを監視・制御できます。

▶ 関連項目

- ・ 「メニューを一括設定する」 [p.29](#)

- ・ 「プロジェクターを監視する」 [p.18](#)
- ・ 「プロジェクターを操作する」 [p.22](#)
- ・ 「通知メールを送る」 [p.37](#)
- ・ 「ファームウェアを更新する」 [p.25](#)
- ・ 「メッセージを配信する」 [p.38](#)
- ・ 「PJLinkの規格で監視・制御するときの制限事項」 [p.66](#)

はじめてソフトウェアを使うときの準備

プロジェクターとコンピューターをネットワーク経由で接続するために必要な準備をします。

▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアをインストールする」 [p.9](#)
- ・「プロジェクターを設定する」 [p.11](#)

ソフトウェアを実行するために必要なシステム動作条件を確認してから、ソフトウェアをインストールしてください。



インストール時に選択した言語が、使用しているオペレーティングシステムの言語と異なるときは、画面が正しく表示されないことがあります。

関連項目

- 「システム動作条件」 [p.9](#)
- 「Epson Projector Management をインストールする」 [p.9](#)
- 「EasyMP Monitorの設定情報を移行する」 [p.10](#)

システム動作条件

本ソフトウェアは次の条件を満たすコンピュータで動作します。

OS	Windows 10 <ul style="list-style-type: none"> Windows 10 Home (32/64ビット) Windows 10 Pro (32/64ビット) Windows 10 Enterprise (32/64ビット)
	Windows 11 <ul style="list-style-type: none"> Windows 11 Home (64ビット) Windows 11 Pro (64ビット) Windows 11 Enterprise (64ビット) Windows 11 Education (64ビット)
CPU	Intel Core i5以上 (推奨: Intel Core i7以上)
メモリー容量	2 GB以上 (推奨: 8 GB以上)

ハードディスク空き容量	1 GB以上
ディスプレイ	1280 × 800 (WXGA) 以上、1920 × 1200 (WUXGA) 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色 (約32000色)

Epson Projector Management をインストールする

Epson Projector Managementをお使いのコンピュータにダウンロードしてインストールします。

最新のEpson Projector Managementは、以下からダウンロードしてください。

epson.jp/download/



- Epson Projector Managementをインストールするには、管理者権限が必要です。
- Epson Projector Managementをインストールする前に、Microsoft .NET Framework 4.5をインストールしてください。
- インストール中にMicrosoft SQL Server 2014 SP3 Expressのインストールが始まります。画面の指示に従って、インストールを続けてください。

- 1** Epson Projector Managementの最新バージョンをダウンロードします。
- 2** [Epson Projector Management Ver.X.XX.exe] をダブルクリックしてインストールを開始します。

- 3** 画面の指示に従って、インストールを進めます。

EasyMP Monitorの設定情報を移行する

EasyMP Monitor（バージョン4.50以降）の設定情報を移行できます。同じコンピュータでEpson Projector Managementを起動すると、ソフトウェアの初回起動時に、EasyMP Monitorの設定が自動で移行されます。移行が終了すると、設定がインポートされたことを知らせるメッセージが表示されます。

インポートした設定情報を別のコンピュータで使用する場合は、お使いのコンピュータで「環境設定」画面を開き、「設定情報ファイルの保存」を実行して設定情報ファイルを保存します。保存した設定情報ファイルは、移行先のコンピュータの次のディレクトリにコピーしてください。

C:\ProgramData\SEIKO EPSON CORPORATION\Epson Projector Management

▶ 関連項目

- ・「環境設定 - 一般」 [p.60](#)

コンピューターとプロジェクターの接続方法を決めて、プロジェクターのネットワーク設定をします。

マニュアルモードでプロジェクターをネットワークに接続します。

ファームウェアの更新、メニューの一括設定を行うときは、有線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続してください。

▶ 関連項目

- ・「有線LANで接続するときの設定方法」 [p.11](#)
- ・「無線LANで接続するときの設定方法」 [p.11](#)

有線LANで接続するときの設定方法

有線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。



お使いのプロジェクターによって設定内容が異なります。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

1 コンピューターをネットワークに接続します。



接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

2 プロジェクターにLANケーブルを接続します。

3 プロジェクターの電源を入れます。

4 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押して、[ネットワーク] メニューを選択します。

5 必要に応じて、IP設定を選択します。

- ・ DHCPを使用できる場合： [DHCP] を [オン] に設定します。
- ・ DHCPを使用できない場合： [DHCP] を [オフ] に設定して、プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。

6 設定が終わったら設定を保存し、メニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターが見つからない（有線LAN）」 [p.46](#)

無線LANで接続するときの設定方法

無線LAN環境でコンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。



お使いのプロジェクターによって設定内容が異なります。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

1 接続するアクセスポイントの設定（SSID、セキュリティ）を、ネットワーク管理者に確認します。

2 コンピューターをネットワークに接続します。



接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 3** 必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットを装着します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- 4** プロジェクターの電源を入れます。
- 5** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押して、[ネットワーク] メニューを選択します。
- 6** 無線LANを有効にします。
- 7** 次のいずれかにより、プロジェクターを無線LANに接続する設定をします。お使いのプロジェクターによって設定内容が異なります。
 - ・ [シンプルAP] をオフにします。
 - ・ [接続モード] を [マニュアルモード] に設定します。
- 8** 必要に応じて他の項目を設定します。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- 9** 必要に応じて、セキュリティ設定を選択します。セキュリティの設定の内容は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
- 10** 設定が終わったら設定を保存し、メニューを終了します。

» 関連項目

- ・ 「プロジェクターが見つからない（無線LAN）」 [p.46](#)

プロジェクターを登録する

ネットワーク上で管理するプロジェクターをEpson Projector Managementに登録します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターを登録する」 [p.14](#)

管理するプロジェクターをEpson Projector Managementに登録します。一度登録すると、以降はEpson Projector Managementを起動するだけで自動的にプロジェクターの状態が表示されます。

複数のプロジェクターを登録する場合は、プロジェクターをグループ登録することで、グループごと一括で監視・制御を行うことができます。

プロジェクターとグループは、あわせて2000個まで登録できます。多数のプロジェクターを監視・制御する場合は、お使いのコンピュータがシステム動作条件を満たしていることを確認してください。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターを検索する」 [p.14](#)
- ・「プロジェクターをグループ登録する」 [p.16](#)
- ・「システム動作条件」 [p.9](#)

プロジェクターを検索する

同一のセグメント内にあるプロジェクターを自動で検索したり、IPアドレスの範囲を指定して検索したりできます。

- 1** Epson Projector Managementを起動します。
 - ・ Windows 10の場合：[スタート] - [EPSON Projector] - [Epson Projector Management Ver.X.XX] の順に選択します。
 - ・ Windows 11の場合：[スタート] - [すべてのアプリ] - [Epson Projector Management Ver.X.XX] の順に選択します。Epson Projector Managementが起動します。
- 2** メニューバーで[プロジェクター]を選択し、[プロジェクター登録]をクリックします。
[プロジェクター登録]画面が表示されます。

3 検索モードを選択します。



- ・ [自動検索]：同一セグメント内にあるプロジェクターを検索します。
- ・ [手動検索]：IPアドレスを指定して検索します。[IPアドレス]にIPアドレスを入力してください。
- ・ [範囲検索]：IPアドレスで検索範囲を指定して検索します。[開始IPアドレス]と[終了IPアドレス]にIPアドレスを入力してください。



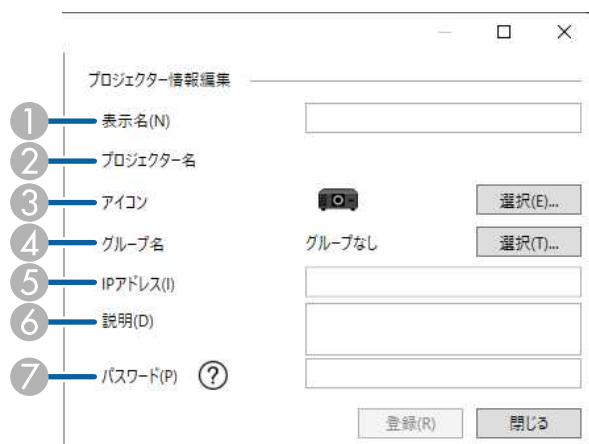
他社製のプロジェクター（PJLink Class2対応）を自動検索する場合は、[PJLinkをサポートするプロジェクターを検索する(Class2)]を選択してください。

- 4** [検索]をクリックします。
検出されたプロジェクターが一覧で表示されます。

5 登録するプロジェクターを選択します。



6 各プロジェクターに必要な設定を行います。



- ① プロジェクターの名称を入力します。ここで入力した名称はメイン画面に表示されます。最長64文字まで入力できます。
- ② プロジェクターに登録されている名称が表示されます。
- ③ アイコンを選択します。
- ④ グループ登録をする場合は、任意のグループを選択します。
- ⑤ プロジェクターのIPアドレスを表示します。

- ⑥ 設置場所などのプロジェクターについての補足情報を記載できます。ここで入力した内容は「プロジェクタープロパティ」に表示されます。最長60文字まで入力できます。
- ⑦ プロジェクターにパスワードが設定されているときは、設定されているパスワードを入力します。正しいパスワードを入力しないと、プロジェクターに登録しても監視・制御ができません。パスワードの詳細については、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

7 「登録」をクリックします。

8 続けて別のプロジェクターに登録するときは、手順5～7の操作を繰り返し行います。

登録したプロジェクターがメイン画面に表示されます。



- ・登録したプロジェクターの情報を変更するときは、メイン画面でプロジェクターをダブルクリックし、「プロジェクタープロパティ」画面で必要な変更を行います。
- ・登録したプロジェクターを削除するときは、メイン画面でプロジェクターを右クリックして「削除」を選択します。
- ・プロジェクターメニューの「待機モード」を「通信オン」に設定するかを確認するダイアログが出ることがあります。プロジェクターがスタンバイ状態（電源オフ）でも監視を有効にする場合は「はい」を選択してください。
- ・DHCPが有効なネットワークでは、「自動検索」で検出されたプロジェクターのみ登録・監視できます。

関連項目

- ・「プロジェクタープロパティ - 情報」 [p.55](#)

プロジェクターをグループ登録する

プロジェクターをグループ登録すると、複数のプロジェクターを一括で監視・制御できます。親グループを設定し、複数のグループに登録されたプロジェクターを一括で監視・制御することもできます。

- 1 メニューバーで「プロジェクター」を選択し、「グループ登録」をクリックします。
「グループ登録」画面が表示されます。

- 2 必要な設定を行います。

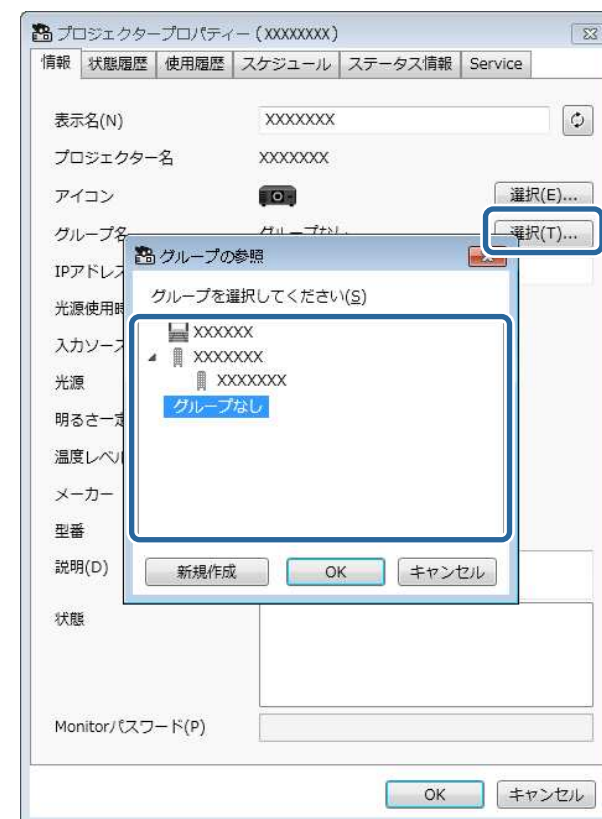


- 1 グループ名を入力します。最長64文字まで入力できます。
- 2 アイコンを選択します。
- 3 グループに親グループを設定するときは、任意の親グループを選択します。（親グループが作成されていないときは選択できません。）

- 3 「登録」をクリックします。
登録したグループがメイン画面に表示されます。

- 4 グループ登録するプロジェクターのアイコンをダブルクリックします。

- 5 登録先のグループを選択して「OK」をクリックします。



グループ登録されたプロジェクターを確認するときは、メイン画面で



「グループView」アイコンを選択します。

関連項目

- 「プロジェクターを監視する」 [p.18](#)

プロジェクターの監視と制御

登録したプロジェクターを監視・制御する方法を説明します。

▶ 関連項目

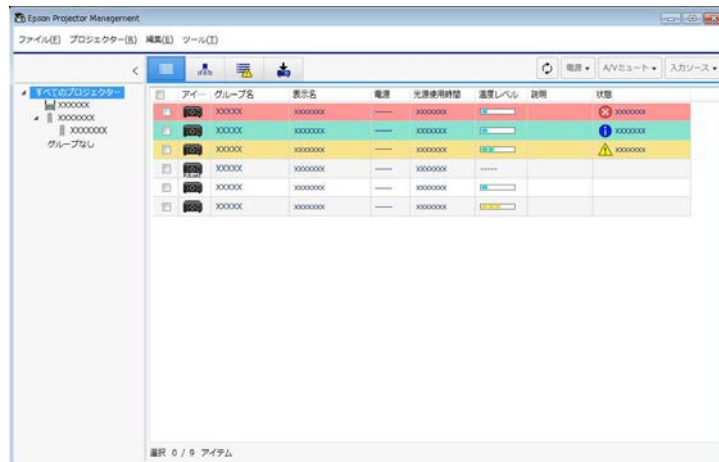
- ・「プロジェクターを監視する」 [p.18](#)
- ・「プロジェクターの詳細情報を確認する」 [p.21](#)
- ・「プロジェクターを操作する」 [p.22](#)

メイン画面のアイコンをクリックし、目的に合わせて画面を選択します。



〔詳細リスト〕

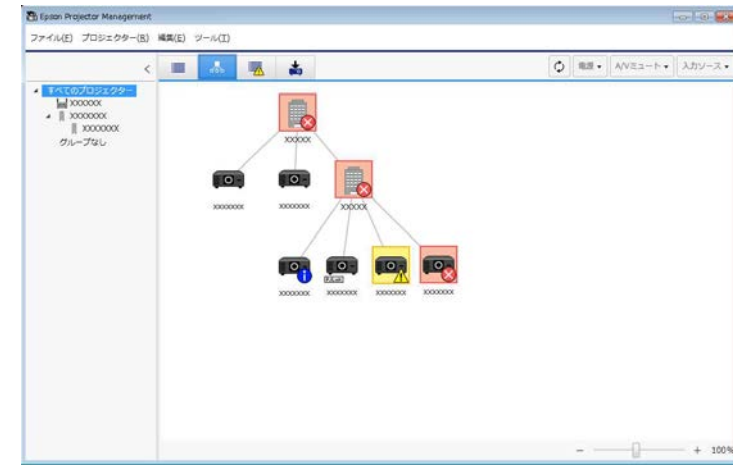
プロジェクターの状態を一覧表示で確認できます。グループ一覧でグループを選択すると、選択したグループのプロジェクターのみ表示できます。



〔グループView〕

グループを階層図で確認できます。グループアイコンまたはグループ一覧のグループ名をダブルクリックするたびに、グループの展開/格納が切り替わります。プロジェクターがグループに格納されると、グループアイコンに丸枠が付きます。

グループアイコンの位置は、グループアイコンをドラッグ&ドロップして移動できます。



キーボードコマンド一覧

以下のコマンドを使った調整ができます。

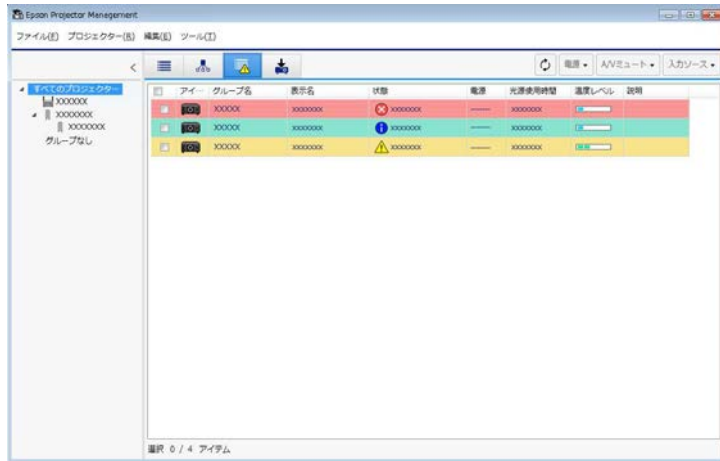
キーボードコマンド	働き
Ctrl + [+]	Viewを拡大します。
Ctrl + マウスホイールを上をスクロール	
Ctrl + [-]	Viewを縮小します。
Ctrl + マウスホイールを下をスクロール	



〔エラーリスト〕

異常・警告・通知状態のプロジェクターのみを一覧表示で確認できます。グループ一覧でグループを選択すると、選択したグループの

プロジェクターのみ表示できます。エラー情報にポイントを合わせると、エラーの対策が確認できます。



- ・ [詳細リスト] と [エラーリスト] に表示する項目や表示順は、[環境設定] 画面の [リスト表示] で変更できます。
- ・ 監視の有効/無効は、メイン画面でプロジェクターを右クリックし、[監視有効] / [監視無効] を選択して切り替えます。
- ・ スタンバイ状態（電源オフ）のプロジェクターを監視するには、プロジェクターのメニューで [待機モード] を [通信オン] に設定します。必要に応じて、正しい [通信ポート] を選択してください。


関連項目

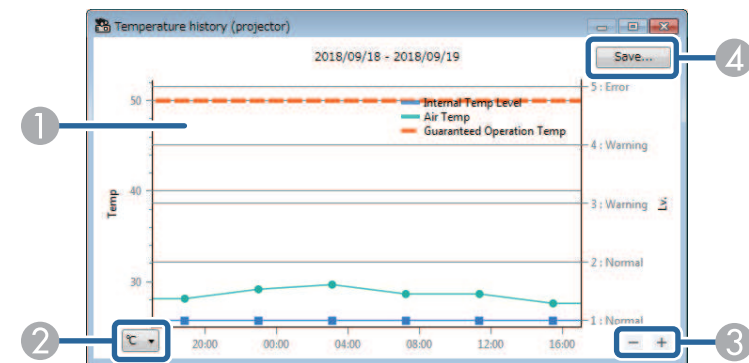
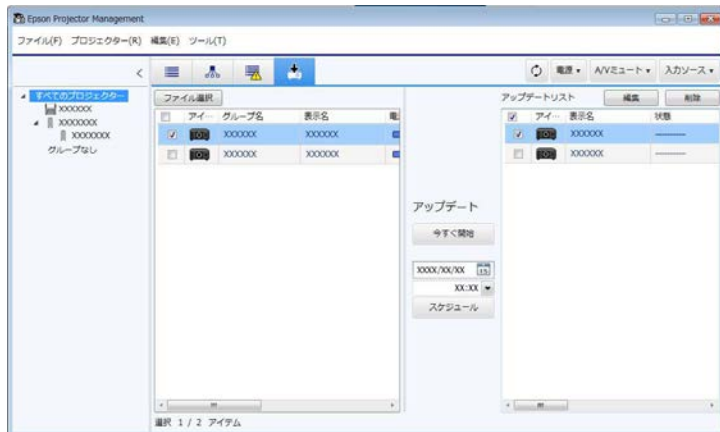
- ・ 「温度履歴グラフを表示する」 [p.19](#)

温度履歴グラフを表示する

プロジェクターの温度履歴をグラフ表示できます。

[詳細リスト] でプロジェクターを右クリックして、[温度履歴] を選択します。

- ・  [アップデートリスト]
プロジェクターのファームウェア更新、メニュー一括設定を実行できます。



① 背景色

青：通知状態

黄：警告状態

赤：異常状態

② 摂氏と華氏を切り替えます。

③ グラフを拡大/縮小表示します。

④ 温度履歴をcsvファイルに書き出します。

温度履歴グラフをパンするには、グラフ上の任意の場所でマウスを右クリックしたまま左右に動かします。



- 最大30日分の温度履歴を表示できます。
- Epson Projector Managementを起動している間の温度履歴のみが表示されます。
- グラフに表示される値は実際の温度そのものを示すものではありません。目安としてご利用ください。プロジェクターの動作温度については、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
- 最大4台のプロジェクターの温度履歴グラフを同時に表示することができます。
- お使いのプロジェクターの機種によっては、この機能に対応していないことがあります。

プロジェクターの詳細な情報は、[プロジェクタープロパティ] 画面で確認できます。

1 メイン画面で情報を確認したいプロジェクターをダブルクリックします。

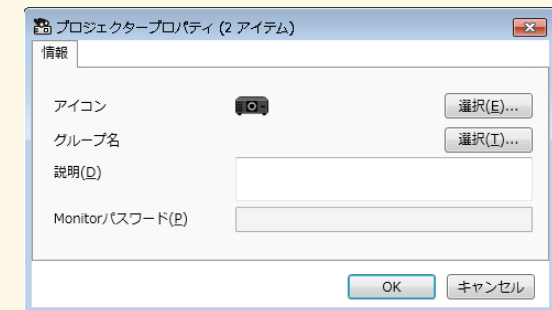
[プロジェクタープロパティ] 画面が表示されます。



- ・ [スケジュール] : プロジェクターや、プロジェクターの親グループに設定されているスケジュールを表示します。
- ・ [ステータス情報] : プロジェクターのステータス情報を表示します。
- ・ [Service] : サービス情報を表示します。(サポート担当者専用の情報です。)



複数のプロジェクターの情報を一括表示できます。メイン画面で情報を表示したいプロジェクターをすべて選択し、右クリックして、[プロパティ] を選択します。



▶ 関連項目

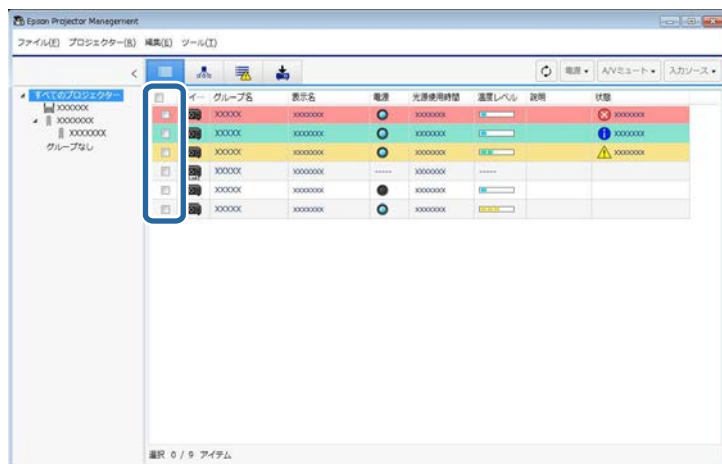
- ・ 「プロジェクタープロパティ画面」 [p.55](#)

2 各タブをクリックして情報を確認します。

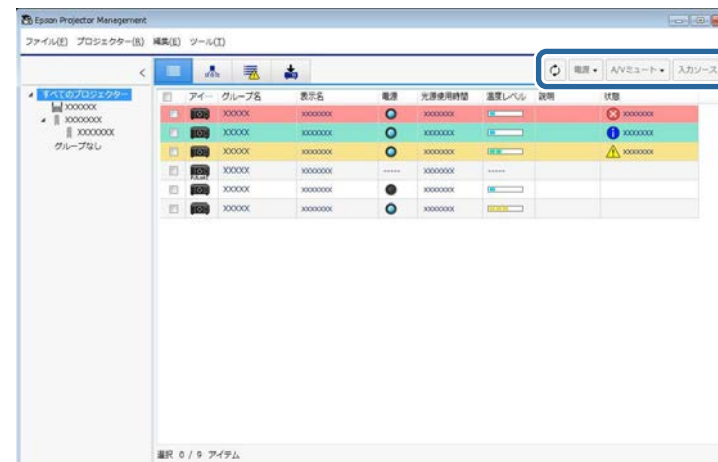
- ・ [情報] : プロジェクターの情報を表示します。
- ・ [状態履歴] : プロジェクターのエラー履歴を表示します。
- ・ [使用履歴] : プロジェクターの使用履歴をグラフで表示します。

メイン画面のプロジェクター操作ボタンで、選択したプロジェクターを操作できます。

- 1 メイン画面で操作したいプロジェクターを選択します。チェックボックスを選択して、複数のプロジェクター、またはすべてのプロジェクターを選択できます。



- 2 以下の操作ができます。



- ・ [最新情報] : プロジェクターの状態を更新します。
- ・ [電源] : プロジェクターの電源をオン/オフします。
- ・ [A/Vミュート] : プロジェクターのA/Vミュートやシャッター機能をオン/オフします。
- ・ [入力ソース] : プロジェクターの入力ソースを選択して切り替えます。(エプソン製プロジェクターのみ)

- 3 エプソン製プロジェクターを右クリックすると、お使いの機種により以下の操作ができます。

- ・ [Web制御] : Webブラウザでプロジェクターの設定や制御をします。
- ・ [リモートカメラアクセス] : プロジェクターのリモートカメラ機能で取得した画像をWebブラウザで確認します。
- ・ [自動調整] : [カラーキャリブレーション] や [スクリーンマッチング] などの自動補正を行います。また、[リフレッシュモードのキャンセル] もできます。



- [自動調整] を実行中は、[電源]、[A/Vミュート]、[入力ソース] の操作ができません。
- [自動補正] 機能や [リモートカメラアクセス] 機能の詳細は、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

ファームウェアの更新/メニューの一括設定

プロジェクターのファームウェア更新、メニューの一括設定をします。

▶ 関連項目

- ・「ファームウェアを更新する」 [p.25](#)
- ・「メニューを一括設定する」 [p.29](#)

有線LAN環境で、プロジェクターとスマートデバイス（対象機種のみ）のファームウェアを更新できます。新しいファームウェアは、ネットワーク経由またはエプソンサポートセンターから提供されます。すぐに更新するか、日時を指定して更新するかを選択できます。

ファームウェアを更新するときは、以下の点を確認してください。

- ・ プロジェクターが有線LAN環境に接続されている。
- ・ プロジェクターの電源が入っているか、またはプロジェクターの「待機モード」が「通信オン」に設定されている。

一部の機種では無線LAN環境でもファームウェアの更新ができます。対応機種については以下をご覧ください。

https://download2.ebz.epson.net/sec_pubs_visual/apps/projector_management/supplement/JA

⚠ 注意

- ・ ファームウェアの更新中はプロジェクターを使用できません。
- ・ ファームウェアの更新中に電源コードを抜かないでください。更新中にプロジェクターの電源が切れると、ファームウェアが正常に書き込まれず、プロジェクターが故障するおそれがあります。ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。
- ・ プロジェクターメニューの設定中や画像補正などの実行中は、ファームウェア更新を行わないでください。

▶ 関連項目

- ・ 「ネットワーク経由でファームウェアを更新する」 p.25
- ・ 「事前に入手したファームウェアに更新する」 p.27

ネットワーク経由でファームウェアを更新する

新しいファームウェアが利用可能になるとメッセージが表示されて、ファームウェアを更新する日時を指定できます。

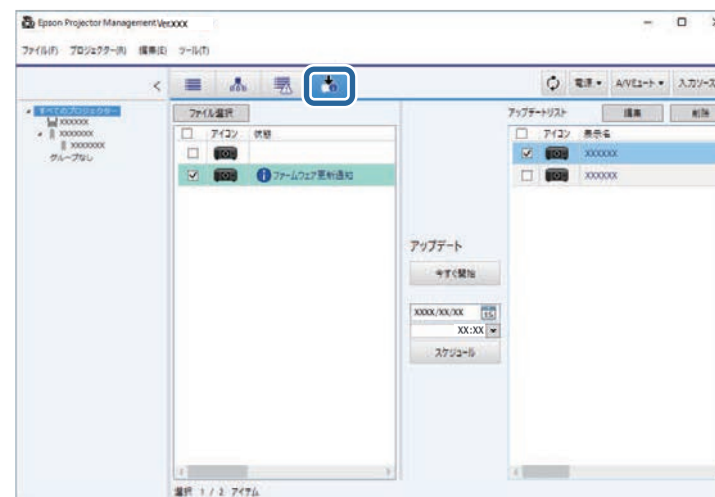
ファームウェアを更新するときは、以下の点を確認してください。

- ・ Epson Projector Managementを起動します。
- ・ メニューバーで「ツール」をクリックし、「環境設定」>「監視」タブ>「ファームウェアの更新を通知する」の順に選択します。
- ・ 必要に応じて、「監視」タブで「プロキシ設定」を変更します。



- ・ 「ファームウェアの更新を通知する」にチェックを入れると、14日ごとに自動的にファームウェアの更新情報を確認します。
- ・ 更新情報をすぐに確認するときは「確認」をクリックします。

- 1 メイン画面で「アップデートリスト」アイコンをクリックして「アップデートリスト」を開きます。

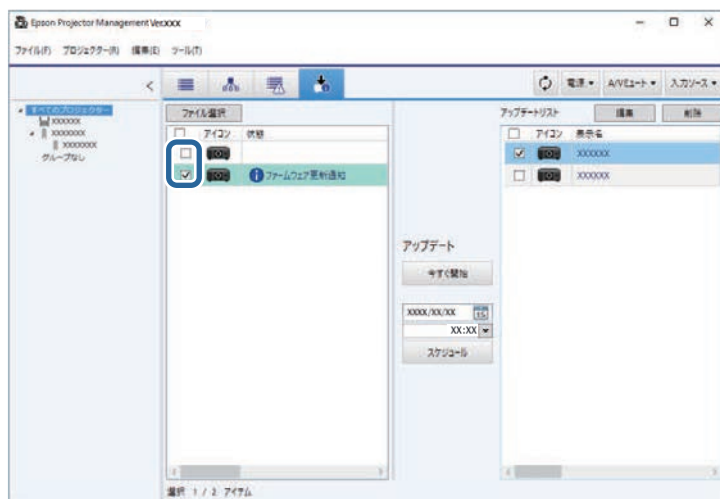


更新可能なプロジェクターは、左画面の「状態」列に「ファームウェア更新通知」が表示されます。



- ・マウスを右クリックして「ファームウェアのリリースノート」を選択すると、ファームウェアのリリースノートを確認できます。
- ・スマートデバイスのファームウェアに更新がある場合にも、「ファームウェア更新通知」が表示されます（対象機種のみ）。

2 更新するプロジェクターを選択します。チェックボックスを選択して、複数のプロジェクター、またはすべてのプロジェクターを選択できます。



3 次のいずれかの方法を選択します。

- ・すぐに更新するときは、「今すぐ開始」をクリックします。
- ・更新の日時を指定するときは、日時を指定してから「スケジュール」をクリックします。

設定した一括設定が「アップデートリスト」の右画面に表示されます。

選択したプロジェクターのスマートデバイスのファームウェアに更新がある場合は、スマートデバイスのファームウェア更新も表示されます（対象機種のみ）。



- ・「編集」をクリックすると、更新の日時を変更できます。
- ・「削除」をクリックすると、更新スケジュールを削除できます。
- ・スケジュールは500件まで表示されます。500件を超えたときは、古いスケジュールから削除されます。
- ・完了したスケジュールを一括で削除するときは、右画面でマウスを右クリックして「古いスケジュールの削除」を選択します。

更新する日時を指定したときは、指定した日時にファームウェアの更新が始まり、プロジェクターのインジケータが点灯します。更新が終了すると、プロジェクターの電源が切れてスタンバイ状態になります。ファームウェア更新の状況は「アップデートリスト」の右画面で確認できます。



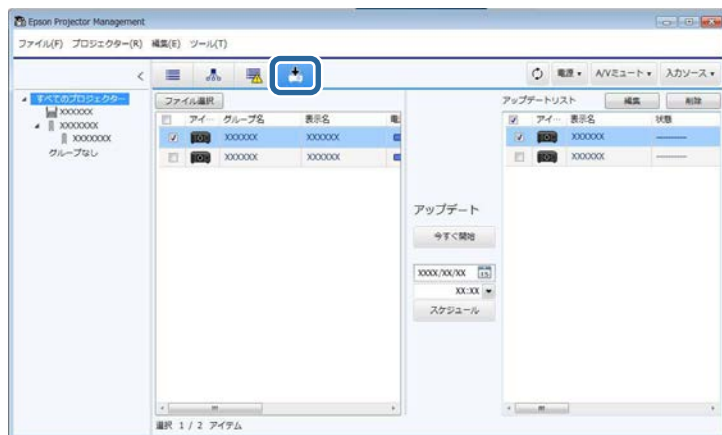
- ・ファームウェアの更新中はEpson Projector Managementを終了しないでください。
- ・更新予定のスケジュールがあるときにEpson Projector Managementを終了すると、終了確認のメッセージが表示されます。設定したスケジュールは、Epson Projector Managementの起動中にのみ動作します。
- ・ファームウェア更新によってプロジェクターのネットワーク設定が変更され、再設定が必要となることがあります。

事前に入手したファームウェアに更新する

事前に入手した更新用ファイルを利用して、ファームウェアを更新できます。

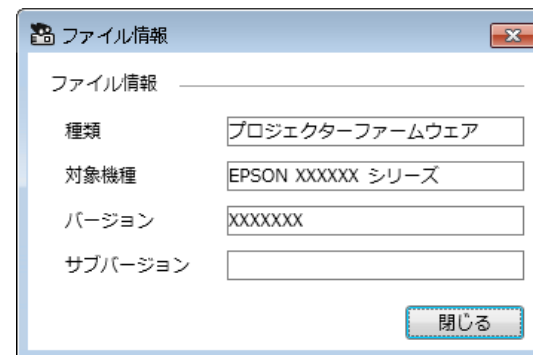
ファームウェアの入手方法は、お近くのエプソンサポートセンターにお問い合わせください。

- 1 メイン画面で「アップデートリスト」アイコンをクリックして「アップデートリスト」を開きます。

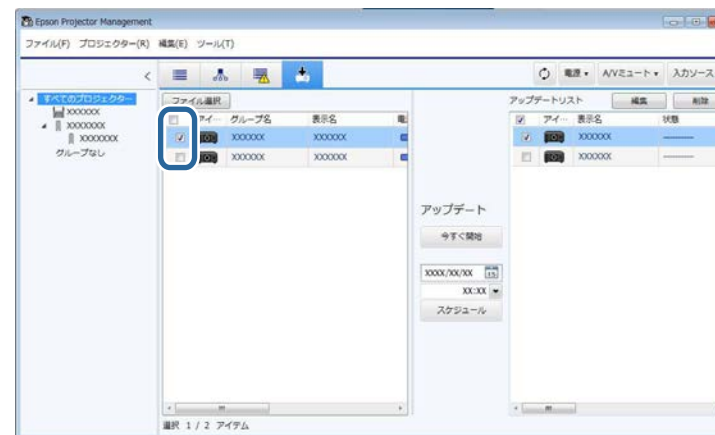


- 2 「ファイル選択」をクリックしてファームウェアファイルを選択します。

「ファイル情報」画面が表示されます。



- 3 ファイル情報を確認して「閉じる」をクリックします。
このファームウェアファイルで更新できるプロジェクターの一覧が、「アップデートリスト」の左画面に表示されます。
- 4 更新するプロジェクターを選択します。チェックボックスを選択して、複数のプロジェクター、またはすべてのプロジェクターを選択できます。



5 次のいずれかの方法を選択します。

- すぐに更新するときは、[今すぐ開始] をクリックします。
- 更新の日時を指定するときは、日時を指定してから [スケジュール] をクリックします。

設定した一括設定が [アップデートリスト] の右画面に表示されます。

選択したプロジェクターのスマートデバイスのファームウェアに更新がある場合は、スマートデバイスのファームウェア更新も表示されます（対象機種のみ）。



- [編集] をクリックすると、更新の日時を変更できます。
- [削除] をクリックすると、更新スケジュールを削除できます。
- スケジュールは500件まで表示されます。500件を超えたときは、古いスケジュールから削除されます。
- 完了したスケジュールを一括で削除するときは、右画面でマウスを右クリックして [古いスケジュールの削除] を選択します。



- ファームウェアの更新中はEpson Projector Managementを終了しないでください。
- 更新予定のスケジュールがあるときにEpson Projector Managementを終了すると、終了確認のメッセージが表示されます。設定したスケジュールは、Epson Projector Managementの起動中にのみ動作します。
- ファームウェア更新によってプロジェクターのネットワーク設定が変更され、再設定が必要となることがあります。

更新する日時を指定したときは、指定した日時にファームウェアの更新が始まり、プロジェクターのインジケータが点灯します。更新が終了すると、プロジェクターの電源が切れてスタンバイ状態になります。ファームウェア更新の状況は [アップデートリスト] の右画面で確認できます。

1台のプロジェクターで設定したメニューの内容を、同じ型番、同じファームウェアバージョンの複数プロジェクターにコピーできます。メニューの内容を一括で設定できます。

一括設定を実行する日時を指定することもできます。

一括設定を行うときは、以下の点を確認してください。

- ・プロジェクターが有線LAN環境に接続されている。
- ・プロジェクターの電源が入っているか、またはプロジェクターの[待機モード]が[通信オン]に設定されている。

以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。

- ・[ネットワーク]メニュー（[メール]メニュー、[その他]メニューを除く）
- ・[情報]メニューの[ランプ点灯時間]、[ステータス]



- ・一部の機種では無線LAN環境でもメニューの一括設定ができません。
対応機種については以下をご覧ください。
https://download2.ebz.epson.net/sec_pubs_visual/apps/projector_management/supplement/JA
- ・台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。投写画面を調整した設定もコピー先のプロジェクターに適用されるため、一括設定機能を実行する前の設定は上書きされます。
一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクターで共有したくない情報は、ユーザーロゴとして登録しないでください。

⚠ 注意

- ・一括設定の実行中はプロジェクターを使用できません。
- ・一括設定を実行中に電源コードを抜かないでください。一括設定の実行中にプロジェクターの電源が切れると、設定内容が正常に書き込まれず、プロジェクターが故障するおそれがあります。一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

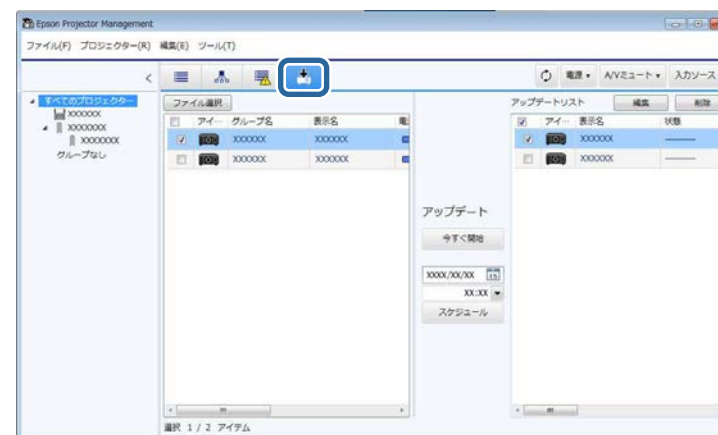
▶ 関連項目

- ・「メニュー設定をダウンロードする」 p.29
- ・「メニュー設定をコピーする」 p.30

メニュー設定をダウンロードする

コピー元のプロジェクターからプロジェクター設定ファイルをダウンロードします。

- 1 メイン画面で[アップデートリスト]アイコンをクリックして[アップデートリスト]を開きます。



2 [アップデートリスト] の左画面でコピー元のプロジェクターを右クリックして、[プロジェクター設定データ取得] を選択します。

3 プロジェクター設定ファイルの保存先フォルダーを指定します。

4 次のいずれかを選択します。

- すぐにプロジェクター設定ファイルをダウンロードするときは、[今すぐ開始] をクリックします。
- ダウンロードの日時を指定するときは、日時を指定してから [スケジュール] をクリックします。

ダウンロードの状況は [アップデートリスト] の右画面で確認できます。

ダウンロードが終了すると、プロジェクターの電源が切れてスタンバイ状態になります。



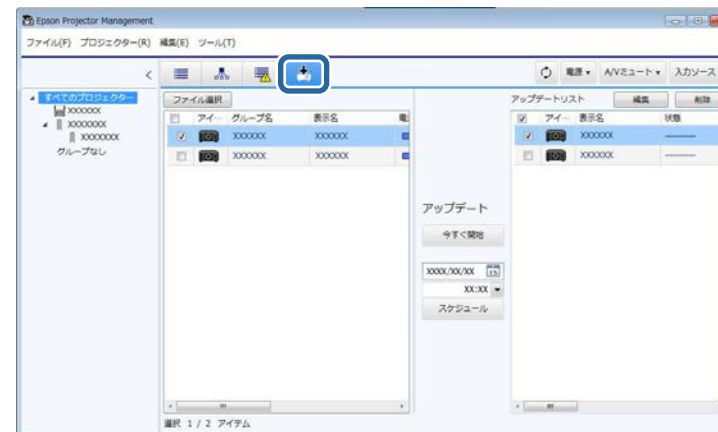
USBメモリーに保存したファイルを使って別のプロジェクターにメニュー設定をコピーするときは、ファイル名を以下のようにしてください。

- 半角英数字のみを使用する。
- ファイル名の先頭に"PJCONFDATA"を付与する。

メニュー設定をコピーする

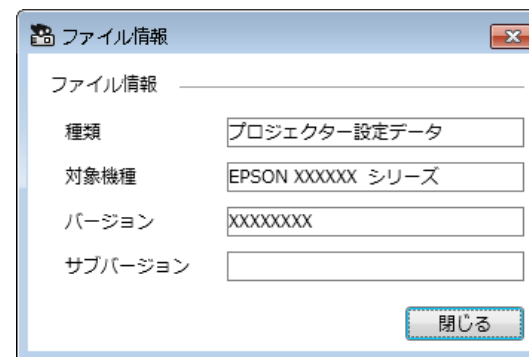
ダウンロードしたプロジェクター設定ファイルを、他のプロジェクターにコピーします。

1 メイン画面で [アップデートリスト] アイコンをクリックして [アップデートリスト] を開きます。



2 [ファイル選択] をクリックして、ダウンロードしたプロジェクター設定ファイルを選択します。

[ファイル情報] 画面が表示されます。



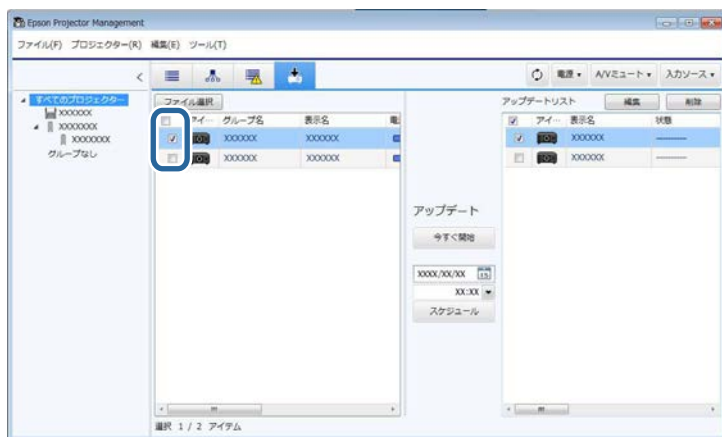
3 ファイル情報を確認して [閉じる] をクリックします。

このプロジェクター設定ファイルをコピーできるプロジェクターの一覧が「アップデートリスト」の左画面に表示されます。



コピーできるのは、コピー元のプロジェクターと同じ型番、同じファームウェアバージョンのプロジェクターのみです。

- 4 コピー先のプロジェクターを選択します。チェックボックスを選択して、複数のプロジェクター、またはすべてのプロジェクターを選択できます。



- 5 次のいずれかの操作を行います。

- すぐに一括設定を行うときは、「今すぐ開始」をクリックします。
- 一括設定の日時を指定するときは、日時を指定してから「スケジュール」をクリックします。

設定した一括設定が「アップデートリスト」の右画面に表示されます。



- 「編集」をクリックすると、一括設定の日時を変更できます。
- 「削除」をクリックすると、一括設定のスケジュールを削除できます。
- スケジュールは500件まで表示されます。500件を超えたときは、古いスケジュールから削除されます。
- 完了したスケジュールを一括で削除するときは、右画面でマウスを右クリックして「古いスケジュールの削除」を選択します。

登録した日時に一括設定が始まり、プロジェクターのインジケータが点灯します。一括設定が終了すると、プロジェクターの電源が切れてスタンバイ状態になります。一括設定の状況は「アップデートリスト」の右画面で確認できます。



- 一括設定の実行中はEpson Projector Managementを終了しないでください。
- 一括設定のスケジュールがあるときにEpson Projector Managementを終了すると、終了確認のメッセージが表示されます。設定したスケジュールは、Epson Projector Managementの起動中にのみ動作します。

便利な機能を活用する

Epson Projector Managementの便利な機能を活用します。

▶ 関連項目

- ・「スケジュールを設定する」 [p.33](#)
- ・「セキュリティーを設定する」 [p.35](#)
- ・「通知メールを送る」 [p.37](#)
- ・「メッセージを配信する」 [p.38](#)
- ・「Epson iProjection用プロファイルをエクスポートする」 [p.42](#)
- ・「ログファイルを保存する」 [p.43](#)
- ・「登録情報を更新する」 [p.44](#)

プロジェクターで自動的に制御が行われるようにスケジュールを登録できます。

指定した日時に以下の動作を自動で行います。

- ・ 電源のオン/オフ
- ・ A/Vミュート
- ・ 入力ソースの切り替え
- ・ メッセージ配信
- ・ 自動調整（[カラーキャリブレーション]、[スクリーンマッチング]、[光源キャリブレーション]、[リフレッシュモード]をサポートするプロジェクターのみ）

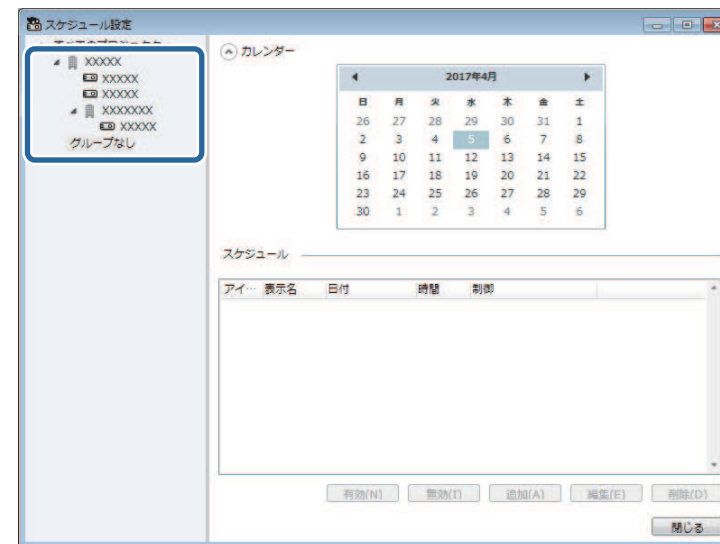
設定したスケジュールは、Epson Projector Managementの起動中にのみ動作します。



ファームウェア更新、メニュー一括設定はこの画面では設定できません。[アップデートリスト]画面で設定してください。

- 1** メニューバーで[ツール]をクリックし、[スケジュール] > [スケジュール設定]の順に選択します。

- 2** スケジュールを登録するプロジェクターまたはグループを選択します。



- 3** [追加] をクリックします。

4 自動実行する制御の日時や動作を設定します。

スケジュール新規作成

表示名 XXXXXX

繰り返し

☒ 日付(D)
☐ 毎週(K)
☐ 毎日(A)

スケジュール

日付(T) XXXX/XX/XX 15

時刻(H) XX:XX

制御

電源
☒ オン(N)
☐ オフ(F)

OK キャンセル



- ・設定した日時になると、設定した動作に関わらず、自動的にプロジェクターの電源がオンになります。
- ・[自動調整] 機能を実行するには、事前に暖機運転をして投写映像の明るさを安定させる必要があります。[自動調整] のスケジュールの前に、個別に電源オンのスケジュールを設定して投写映像の明るさを安定させてください。
- ・[自動調整] 機能を実行する前に、すべてのプロジェクターの電源をオンにする必要があります。[自動調整] 機能で使用するすべてのプロジェクターで、個別に電源オンのスケジュールを設定してください。



- ・スケジュールを編集するときは、[スケジュール設定] 画面で任意のスケジュールを選択し、[編集] をクリックします。
- ・スケジュールを削除するときは、[スケジュール設定] 画面で任意のスケジュールを選択し、[削除] をクリックします。
- ・登録したスケジュールを削除せずにスケジュールの有効/無効を切り替えるときは、[スケジュール設定] 画面で任意のスケジュールを選択し、[有効] / [無効] をクリックします。
- ・スケジュール機能の有効/無効を切り替えるときは、メニューバーで [ツール] を選択し、[スケジュール] で [スケジュール有効] / [スケジュール無効] をクリックします。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクタープロパティ - スケジュール」 [p.57](#)
- ・「ファームウェアの更新/メニューの一括設定」 [p.24](#)

5 [OK] をクリックして設定内容を保存します。

スケジュールが登録されます。

第三者が勝手にEpson Projector Managementを操作したり、設定を変更したりできないようにアプリケーションロックをかけて、セキュリティを強化できます。

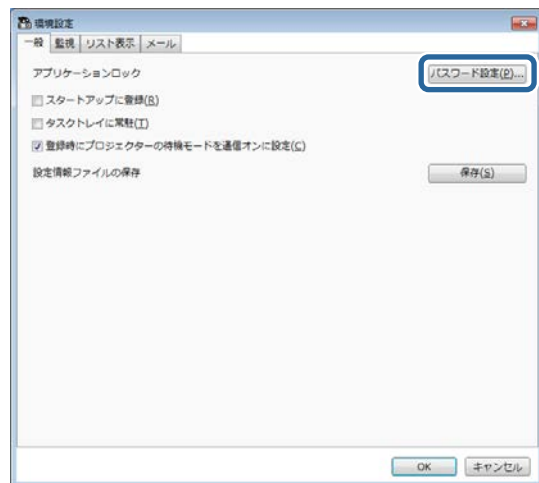
▶ 関連項目

- ・「パスワードを設定する」 [p.35](#)
- ・「ソフトウェアの使用を制限する」 [p.35](#)

パスワードを設定する

設定したパスワードは、ソフトウェアの起動時、またはアプリケーションロック解除時に使用します。

- 1** メニューバーで「ツール」を選択し、「環境設定」をクリックします。
- 2** 「一般」タブをクリックします。
- 3** 「パスワード設定」をクリックします。



- 4** 次のいずれかの操作を行います。
 - ・パスワードを初めて設定するとき：「旧パスワード」は空白のままにします。
 - ・旧パスワードを変更するとき：「旧パスワード」に既存のパスワードを入力します。
- 5** 「新規パスワード」に新しいパスワードを入力します。パスワードは半角英数字で16文字まで入力できます。
- 6** 「新規パスワード(確認)」に同じパスワードを再度入力します。
- 7** 「OK」をクリックします。

パスワードが保存されます。

ソフトウェアの使用を制限する

第三者が勝手にソフトウェアを操作したり、設定を変更したりできないようにアプリケーションロックをかけることができます。



パスワードを設定しておくことでアプリケーションロック解除時にパスワードの入力が求められます。アプリケーションロックが簡単に解除できなくなり、セキュリティがより強力になります。

「ツール」メニューで「アプリケーションロック」を選択します。アプリケーションロックが有効になり、ソフトウェアの起動/終了とアプリケーションロックの解除以外は操作できなくなります。アプリケーションをロック解除するためには、「ツール」メニューで「アプリケーションロック解除」を選択します。パスワードを設定し

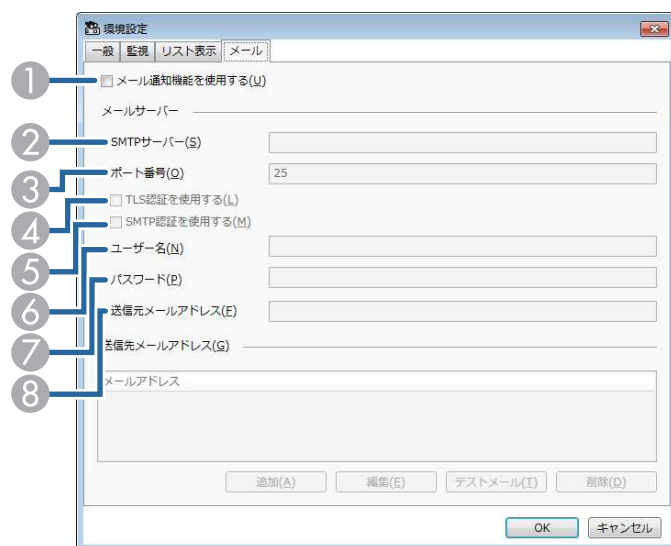
ていないときは、パスワード入力画面で何も入力せずに [OK] をクリックします。

プロジェクターに問題が発生したときや、別のプロジェクターへの置き換えが検知されたときに、メールで知らせるように設定できます。プロジェクターが特定の状態や異常・警告状態から復帰したら、復帰を通知するメールを送ることもできます。



- ・プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信されないことがあります。
- ・プロジェクターにより、メール通知機能で通知できる内容が異なります。

- 1 メニューバーで「ツール」を選択し、「環境設定」をクリックします。
- 2 「メール」タブをクリックします。
- 3 必要な設定を行います。



- 1 メール通知機能を有効にするときに選択し、必要な情報を入力できる状態にします。
- 2 プロジェクターのSMTPサーバー名またはSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。
- 3 SMTPサーバーのポート番号として、1から65535までの有効な数値を入力します。初期値は25です。
- 4 TLS認証を有効にします。
- 5 SMTP認証を有効にします。
- 6 SMTP認証に使うユーザー名を入力します。
- 7 SMTP認証に使うパスワードを入力します。
- 8 送信者として表示するメールアドレスを入力します。半角英数字で512文字まで入力できます。

- 4 「追加」をクリックし、宛先と通知内容を設定します。
- 5 「OK」をクリックします。
「環境設定」画面が表示されます。宛先を追加する場合は手順4～5を繰り返します。最大10件のアドレスを登録できます。
- 6 「テストメール」をクリックして、テストメールを送信します。
テストメールが届かない場合は、「メール」タブ内の設定内容に誤りがないか確認します。
- 7 「OK」をクリックして設定内容を保存します。

関連項目

- ・「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.48](#)
- ・「環境設定 - メール」 [p.62](#)

複数のプロジェクターに画像やテキストメッセージを配信して投写できます。メッセージは即時に配信したり、スケジュール機能を使って特定の日に配信したりできます。



- 配信できる画像の解像度は50 × 50以上、1920 × 1200以下です。
- 配信できるテキストは1024文字以下です。

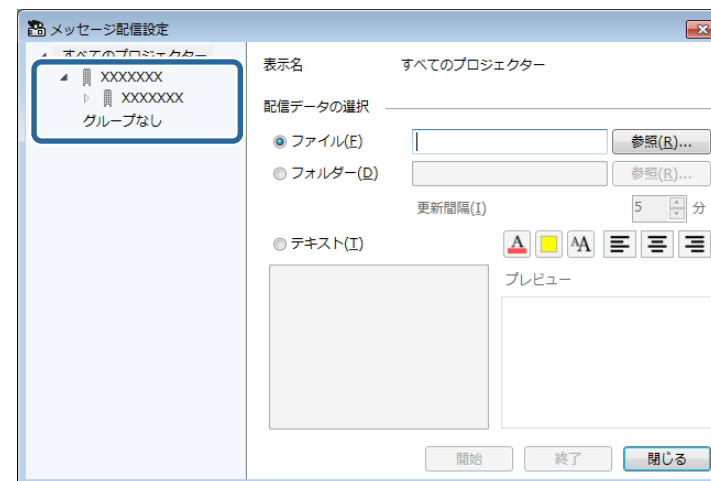
⚠ 注意

本機能は、緊急時に緊急の情報を通知する目的では使用できません。緊急時の情報通知には他の手段を用いてください。エプソンは、本機能を使用して送信されたメッセージの速度、信頼性、または正確性を保証するものではなく、その使用に起因する損失、損傷または傷害について一切の責任を負いません。

▶ 関連項目

- 「手でメッセージを配信する」 [p.38](#)
- 「特定の日にメッセージを配信する」 [p.39](#)

- 2 メッセージを受信するプロジェクターまたはグループを選択します。

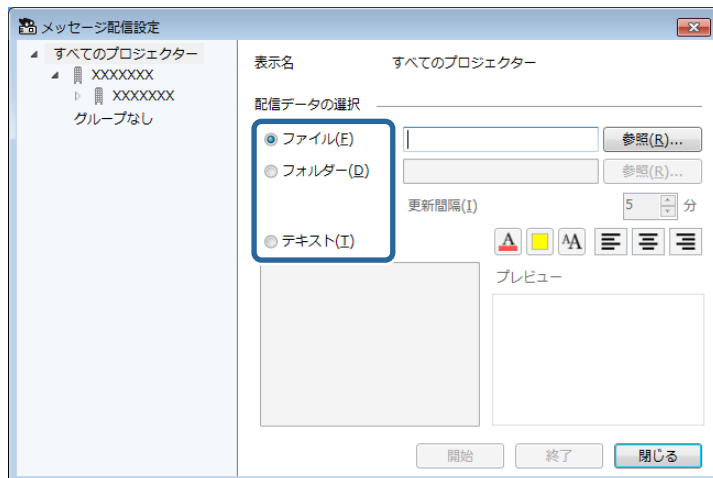


手でメッセージを配信する

即時に、複数のプロジェクターに画像やテキストメッセージを配信して同時に投写します。

- 1 メニューバーで「ツール」を選択し、「メッセージ配信」をクリックします。

3 配信するメッセージの種類を選択します。



- ・ [ファイル] : 単一のJPEGファイルを配信します。
- ・ [フォルダー] : 指定したフォルダー内の全てのJPEGファイルを配信します。
- ・ [テキスト] : テキストメッセージを配信します。

4 必要な設定を行います。

- ・ [ファイル] を選択したときは、[参照] をクリックして配信するファイルを指定します。
- ・ [フォルダー] を選択したときは、[参照] をクリックして配信するファイルを含むフォルダーを指定します。[更新間隔] で画像の切り替え時間を1～30分の間で指定できます。
- ・ [テキスト] を選択したときは、テキストボックスに任意のテキストを入力し、必要に応じてテキストスタイルを設定します。

5 [開始] を選択します。

指定した画像やテキストメッセージがプロジェクターで投写されます。



他のソースの映像が投写されている場合は、配信したメッセージに切り替えて投写します。

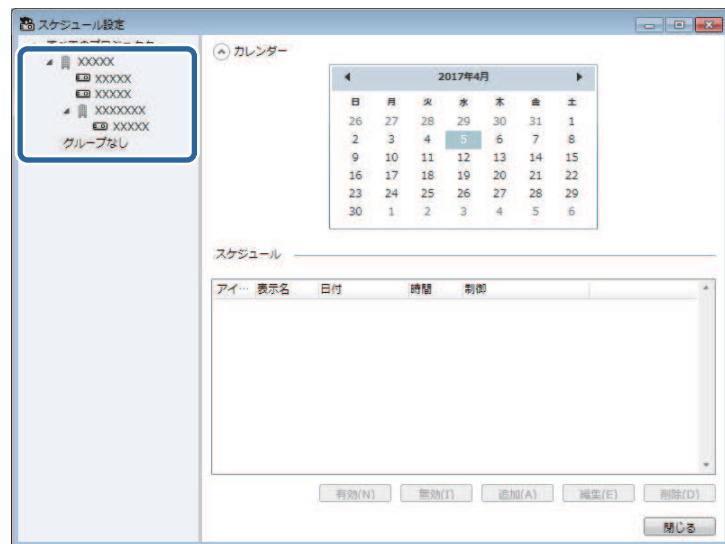
6 [終了] をクリックして、配信したメッセージの投写を終了します。

特定の日時にメッセージを配信する

特定の日時に、複数のプロジェクターに画像やテキストメッセージを配信して投写します。

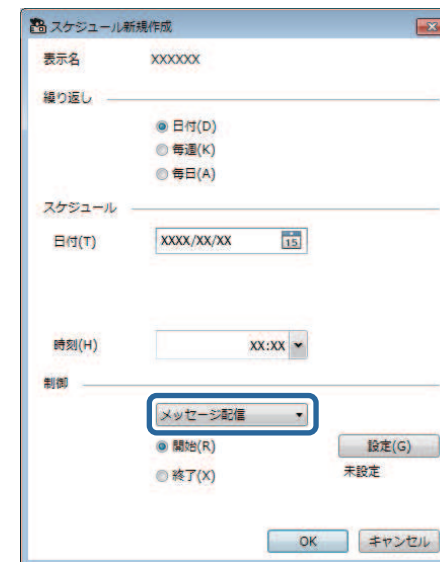
1 メニューバーで [ツール] をクリックし、[スケジュール] > [スケジュール設定] の順に選択します。

- 2** メッセージを受信するプロジェクトまたはグループを選択します。



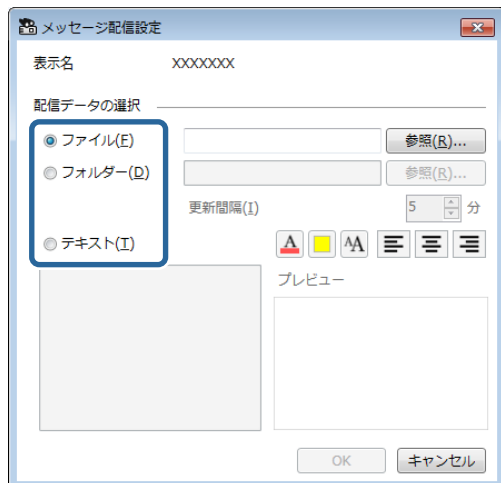
- 3** [追加] をクリックします。

- 4** メッセージ配信を開始する日時を設定し、[制御] から [メッセージ配信] をクリックします。



- 5** [開始] を選択して [設定] をクリックします。

6 配信するメッセージの種類を選択します。



- ・ [ファイル] : 単一のJPEGファイルを配信します。
- ・ [フォルダー] : 指定したフォルダー内の全てのJPEGファイルを配信します。
- ・ [テキスト] : テキストメッセージを配信します。

7 必要な設定を行います。

- ・ [ファイル] を選択したときは、[参照] をクリックして配信するファイルを指定します。
- ・ [フォルダー] を選択したときは、[参照] をクリックして配信するファイルを含むフォルダーを指定します。[更新間隔] で画像の切り替え時間を1～30分の間で指定できます。
- ・ [テキスト] を選択したときは、テキストボックスに任意のテキストを入力し、必要に応じてテキストスタイルを設定します。

8 [OK] をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

10 手順2～4を繰り返し、メッセージ配信を終了する日時を設定します。



終了の日時を設定しないと、プロジェクターがメッセージを投写し続けます。

11 [終了] を選択して [OK] をクリックします。

12 [閉じる] をクリックして設定内容を保存します。

設定した日時になると、指定した画像やテキストメッセージがプロジェクターで投写されます。

Epson Projector Managementに登録されているプロジェクター情報をエクスポートして、Epson iProjectionで利用できます。

- 1** メニューバーで [ファイル] をクリックし、[エクスポート] > [Epson iProjectionプロファイル] の順に選択します。
- 2** エクスポートするグループを選択します。
- 3** [OK] をクリックして.mplistファイルを保存します。



- プロファイルをEpson iProjectionへインポートする方法について詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac) 』をご覧ください。
- エクスポートしたプロジェクターの登録状況によっては、プロファイルがEpson iProjectionで正しく読み込めない場合があります。

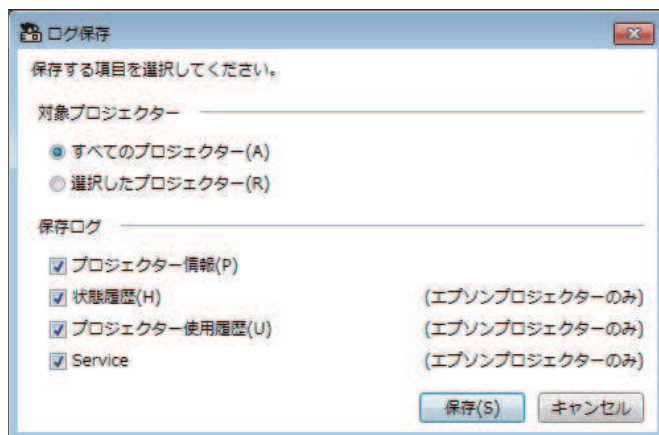
プロジェクターの使用履歴やエラー履歴などのログ情報を、任意のフォルダーにログファイルとして保存できます。（エプソン製プロジェクターのみ。）ログファイルは、ログ情報の種類ごとに個別のzipファイルとして保存されます。



- Epson Projector Managementを起動している間のみ、ログを保存します。
- 初期設定では、直近の3か月間のログを保存します。ログの保存期間は、[環境設定] 画面の[監視] タブの[ログ保存] から変更できます。
- プロジェクターにより、保存できるログの種類が異なります。

1 メニューバーで[ファイル] を選択し、[ログ保存] をクリックします。

[ログ保存] 画面が表示されます。



2 対象のプロジェクターを選択します。

- [すべてのプロジェクター] : 登録されているすべてのプロジェクターを対象にします。

- [選択したプロジェクター] : 選択したプロジェクターのみを対象にします。

3 ログファイルとして保存する項目を選択して[保存] をクリックします。

4 出力先とファイル名を指定して[保存] をクリックします。
指定した出力先にzipファイルが保存されます。

登録済みのプロジェクターを他のプロジェクターに置き換えると、置き換えが自動的に検出され、メッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、登録情報を更新できます。



置き換え前のプロジェクターに関連したスケジュールは有効なままです。

1 メイン画面で置き換え前のプロジェクターを選択します。チェックボックスを選択して、複数のプロジェクター、またはすべてのプロジェクターを選択できます。

2 選択したプロジェクターを右クリックして、[機器の交換処理]を選択します。

置き換え前の履歴データを保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。分析目的で履歴データを使いたい場合は[はい]を選択します。そうでなければ、[いいえ]を選択することをお勧めします。

メール通知機能を有効にしている場合は、更新が完了したら、完了を知らせるメールが届きます。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク接続に関するトラブル」 [p.46](#)
- ・「監視と制御に関するトラブル」 [p.48](#)
- ・「ファームウェア更新/メニュー一括設定に関するトラブル」 [p.50](#)

お使いのネットワーク環境に応じた対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターが見つからない（有線LAN）」 [p.46](#)
- ・「プロジェクターが見つからない（無線LAN）」 [p.46](#)

プロジェクターが見つからない（有線LAN）

有線LAN環境でプロジェクターを検索できないときは、次の対処方法を確認してください。問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ・ LANケーブルを正しく接続します。



- ・ 市販の100BASE-TX、または10BASE-TのLANケーブルを使用します。
- ・ カテゴリ5、またはそれ以上のシールドLANケーブルを使用してください。

- ・ プロジェクターのネットワーク設定を確認する
 - ・ [DHCP] の設定を [オフ] にします。[DHCP] を [オン] に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
 - ・ プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
 - ・ プロジェクターのネットワーク設定を終了します。
- ・ コンピューターのネットワーク設定を確認する
 - ・ コンピューターのLANの設定を有効にします。
 - ・ ファイアウォールを解除します。または、ファイアウォールを例外に登録します。ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。本アプリケーションで使用するポートは「56181」（TCP）です。

▶ 関連項目

- ・ 「有線LANで接続するときの設定方法」 [p.11](#)

プロジェクターが見つからない（無線LAN）

無線LAN環境でプロジェクターを検索できないときは、次の対処方法を確認してください。問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ・ ネットワーク機器の状態、またはプロジェクターの設置環境を確認する
 - ・ 必要に応じて、無線LANユニットが正しく装着されているか確認します。プロジェクターにより、対応する無線LANユニットは異なります。詳しくは、プロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。
 - ・ アクセスポイントとコンピューターやプロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。
 - ・ アクセスポイントとコンピューターやプロジェクターが離れすぎているか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。
 - ・ Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
 - ・ ネットワーク機器の電波強度を最大にしてください。
 - ・ アクセスポイントのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
 - ・ お使いのアクセスポイントが、プロジェクターの無線LAN規格に対応しているか確認します。
- ・ プロジェクターのネットワーク設定を確認する
 - ・ [接続モード] を [マニュアルモード] に設定します。

- ・プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
- ・[DHCP] の設定を [オフ] にします。[DHCP] を [オン] に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LAN待機画面が表示されるまで時間がかかります。
- ・プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを正しい値に設定します。
- ・無線LANの設定を有効にします。
- ・無線LAN方式をアクセスポイントが対応している規格に設定します。
- ・セキュリティの設定をしているときは、プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のパスフレーズを設定します。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を終了します。
- ・コンピューターのネットワーク設定を確認する
 - ・お使いのコンピューターが無線LANに接続できるか確認します。
 - ・無線LANの設定、またはコンピューターのAirPortの設定を有効にします。
 - ・プロジェクターが接続しているアクセスポイントに接続します。
 - ・ファイアウォールを解除します。または、ファイアウォールを例外に登録します。ファイアウォールを解除または例外に登録したくないときは、ポートを開ける設定をしてください。本アプリケーションで使用するポートは「56181」（TCP）です。
- ・MACアドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を、プロジェクターが接続できる設定にします。

» 関連項目

- ・「無線LANで接続するときの設定方法」 [p.11](#)

トラブルの状況に応じた解決策を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターを監視・制御できない」 [p.48](#)
- ・「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.48](#)
- ・「メッセージが配信されない」 [p.48](#)

プロジェクターを監視・制御できない

プロジェクターを監視・制御できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。
- ・スタンバイ状態（電源オフ）のプロジェクターを監視するには、プロジェクターのメニューで［待機モード］を［通信オン］に設定します。必要に応じて、正しい［通信ポート］を選択してください。
- ・監視・制御したいプロジェクターがEpson Projector Managementに登録されていることを確認します。
- ・プロジェクターでDHCPをオフにします。DHCPをオンにしていると、プロジェクターのIPアドレスの変更により、Epson Projector Managementでの監視・制御ができなくなることがあります。
- ・バックアップファイルから設定を復元するときは、保存したzipファイルを解凍し、フォルダーごと次のディレクトリにコピーしてください。
C:\ProgramData\SEIKO EPSON CORPORATION\Epson Projector Management
- ・バックアップファイルが無い状態でソフトウェアを再インストールする場合は、次のディレクトリに格納されているファイルを削除してから再インストールを実行します。

C:\ProgramData\SEIKO EPSON CORPORATION\Epson Projector Management

▶ 関連項目

- ・「環境設定 - 一般」 [p.60](#)
- ・「プロジェクターの監視と制御」 [p.17](#)

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常・警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処法を確認してください。

- ・本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。（プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信されないことがあります。）
- ・スタンバイ状態（電源オフ）のプロジェクターを監視するには、プロジェクターのメニューで［待機モード］を［通信オン］に設定します。必要に応じて、正しい［通信ポート］を選択してください。
- ・本機をお使いの地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
- ・［環境設定］画面の［メール］タブで［テストメール］をクリックし、テストメールを送信します。テストメールが届かない場合は、［メール］タブ内の設定内容に誤りがないか確認します。

▶ 関連項目

- ・「環境設定 - メール」 [p.62](#)

メッセージが配信されない

メッセージ配信機能が動作しないときは、次の対処法を確認してください。

- ・プロジェクターの電源が入っていて、ネットワークに正しく接続されていることを確認します。

- ・スタンバイ状態（電源オフ）のプロジェクターを監視するには、プロジェクターのメニューで〔待機モード〕を〔通信オン〕に設定します。必要に応じて、正しい〔通信ポート〕を選択してください。
- ・メッセージ配信機能での通信用に、ファイアウォールの設定でUDPポートを開放します。詳細はファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ・操作パネルまたはリモコンの【戻る】ボタンを押してメッセージ配信を終了すると、メッセージ配信機能が無効になります。再度メッセージ配信を行う場合は、プロジェクターを再起動してください。

トラブルの状況に応じた解決策を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「ファームウェアを更新できない/メニューを一括設定できない」
p.50

ファームウェアを更新できない/メニューを一括設定できない

- ・お使いのコンピューターがネットワークに接続されているか確認します。
- ・[環境設定] 画面の[監視] タブで[ファームウェアの更新を通知する]を選択します。
- ・スケジュールに登録した日時にEpson Projector Managementが起動していたか確認します。
- ・プロジェクターの[待機モード]が[通信オフ]に設定されていて、プロジェクターの電源が入っていないときは、ファームウェア更新、メニュー一括設定はできません。[待機モード]を[通信オン]に設定します。
- ・ファームウェア、またはプロジェクター設定ファイルが壊れている可能性があります。ファームウェアをダウンロードしなおすか、プロジェクター設定ファイルを作りなおして、もう一度試してみてください。
- ・指定した日時にファームウェア更新、メニュー一括設定が実行されないときは、スケジュールがキャンセルされていないか確認します。キャンセルされたスケジュールは、[アップデートリスト]に[完了]のステータスで残っています。
- ・Epson Projector Managementへの登録後にプロジェクターのネットワーク設定が変わると、Epson Projector Managementに保存されているネットワーク設定情報とプロジェクターのネットワーク設定が異なり、ファームウェア更新、メニュー一括設定が実行できません。

[アップデートリスト]で[最新表示]をクリックして、プロジェクターの情報を更新してください。

- ・DHCPを使用しているネットワーク環境で、ファームウェア更新、メニュー一括設定ができないときは、DHCPをオフにして固定IPアドレスで実行してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
- ・プロジェクターの検索時にファイアウォールの設定を確認する画面が出たときは、画面の指示に従ってEpson Projector Managementを例外登録してください。

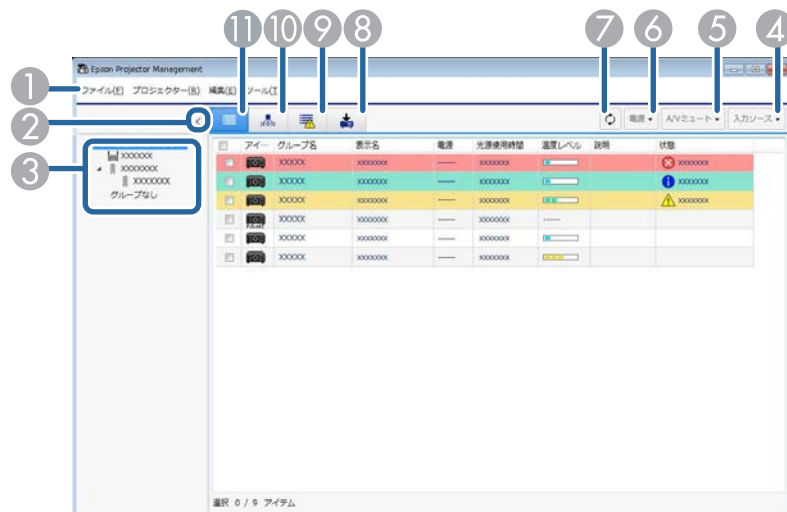
各画面の説明

Epson Projector Managementの各画面の項目を説明します。




▶ 関連項目

- ・「メイン画面」 [p.52](#)
- ・「プロジェクタープロパティ画面」 [p.55](#)
- ・「環境設定画面」 [p.60](#)

Epson Projector Managementを起動すると、メイン画面が表示されます。



①	ファイルメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ [ログ保存] : ログ保存の設定を行います。 ・ [エクスポート] : Epson Projector Managementに登録されているプロジェクター情報をエクスポートします。エクスポートした情報はEpson iProjectionで利用できます。 ・ [バージョン情報] : ソフトウェアのバージョン情報を表示します。 ・ [終了] : ソフトウェアを終了します。
	プロジェクターメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ [プロジェクター登録] : 新規のプロジェクターを検索/登録します。 ・ [グループ登録] : 新規のグループを作成します。

	編集メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ [プロパティ] : [プロジェクタープロパティ] 画面を表示します。 ・ [監視有効] / [監視無効] : 監視の有効/無効を切り替えます。 ・ [削除] : 選択したプロジェクターを削除します。
	ツールメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ [アプリケーションロック] / [アプリケーションロック解除] : アプリケーションロックの有効/無効を切り替えます。 ・ [環境設定] : [環境設定] 画面を表示します。 ・ [スケジュール] : スケジュール機能の設定を行います。 ・ [メッセージ配信] : メッセージ配信機能の設定を行います。
②	>< 表示/非表示	グループ一覧を展開/格納します。
③	グループ一覧	登録されたグループをツリー構造で表示します。
④	入力ソース	プロジェクターの入力ソースを選択して切り替えます。(エプソン製プロジェクターのみ)
⑤	A/Vミュート	プロジェクターのA/Vミュートやシャッター機能をオン/オフします。
⑥	電源	プロジェクターの電源をオン/オフします。
⑦		プロジェクターの状態を更新します。
⑧		アップデートリストを表示します。プロジェクターのファームウェア更新、メニュー一括設定を実行できます。
⑨		エラーリストを表示します。異常・警告・通知状態のプロジェクターのみを一覧表示で確認できます。

10		グループViewを表示します。グループを階層図で確認できます。
11		詳細リストを表示します。プロジェクターの状態を一覧表示で確認できます。

▶ 関連項目

- ・「アイコンの種類と意味」 p.53
- ・「アップデートリスト」 p.53
- ・「環境設定 - リスト表示」 p.61

アイコンの種類と意味

メイン画面のアイコンの種類と意味は次の表のとおりです。

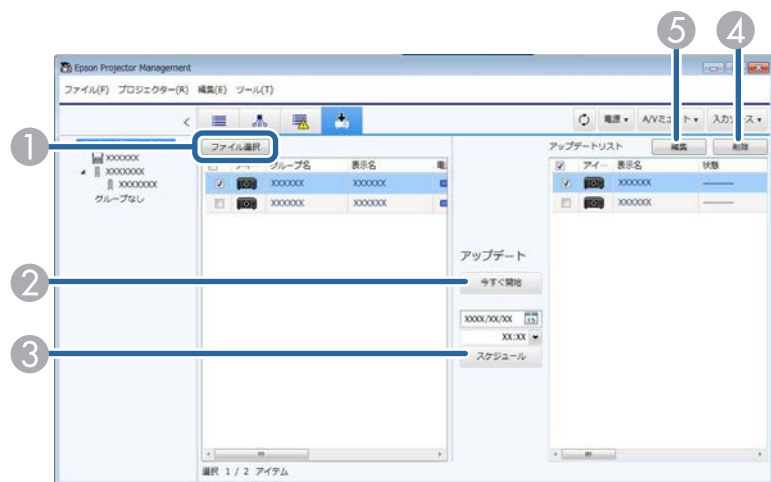
	グループが展開状態です。
	グループが格納状態です。
	プロジェクターをPLinkの規格で監視・制御しています。
	グループやプロジェクターが正常です。
	グループやプロジェクターが警告状態です。
	グループやプロジェクターが異常状態です。
	グループやプロジェクターにお知らせがあります。
	グループやプロジェクターが機能を実行しています。

	グループやプロジェクターの情報を更新しています。
	グループやプロジェクターの監視が無効です。
	プロジェクターの電源がオンになっています。
	ウォームアップ状態です。
	クールダウン状態です。
	プロジェクターの電源がオフになっています。
	プロジェクターに異常が発生したため、電源がオフになっています。
	プロジェクターのA/Vミュートやシャッター機能がオンになっています。
	プロジェクター内部の温度が異常です。
	プロジェクター内部が高温警告状態です。
	プロジェクター内部の温度が正常です。
	プロジェクターの状態を取得できません。

アップデートリスト

メイン画面で「アップデートリスト」アイコンをクリックすると、「アップデートリスト」が表示されます。プロジェクターファーム

ウェアの最新バージョンへの更新や、メニュー項目の一括設定ができます。



①	ファイル選択	プロジェクターのファームウェアファイルやプロジェクター設定ファイルを選択します。
②	今すぐ開始	すぐにファームウェア更新やメニュー一括設定を開始します。
③	スケジュール	ファームウェア更新やメニュー一括設定のスケジュールを設定します。
④	削除	更新スケジュールを削除します。
⑤	編集	更新スケジュールを編集します。

「編集」メニューで「プロパティ」をクリックすると、「プロジェクタープロパティ」画面が表示されます。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクタープロパティ - 情報」 [p.55](#)
- ・「プロジェクタープロパティ - 状態履歴」 [p.56](#)
- ・「プロジェクタープロパティ - 使用履歴」 [p.57](#)
- ・「プロジェクタープロパティ - スケジュール」 [p.57](#)
- ・「プロジェクタープロパティ - ステータス情報」 [p.58](#)
- ・「プロジェクタープロパティ - Service」 [p.59](#)

情報を更新するには  をクリックします。



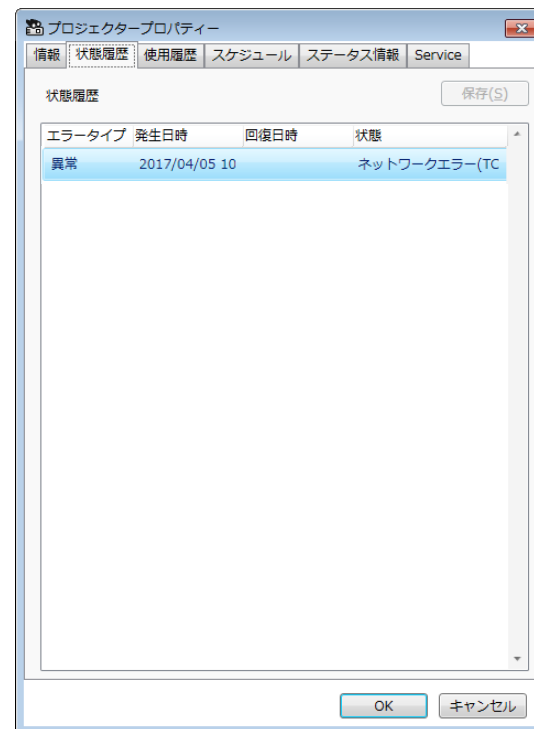
プロジェクタープロパティ - 情報

「プロジェクタープロパティ」画面で「情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。お使いのプロジェクターによって、取得できる情報が異なります。取得できない情報は「---」と表示します。

表示名	Epson Projector Managementで登録した表示名を表示します。
プロジェクター名	プロジェクターに登録されている名称を表示します。
アイコン	プロジェクターまたはグループに登録されているアイコンを表示します。アイコンは「選択」をクリックして変更できます。
グループ名	プロジェクターが所属するグループの名称を表示します。グループは「選択」をクリックして変更できます。
IPアドレス	プロジェクターのIPアドレスを表示します。

光源使用時間	プロジェクターの光源使用時間を表示します。
入力ソース	プロジェクターの現在の入力ソースを表示します。他社製のプロジェクターを選択している場合は、入力ソースの番号を指定して切り替えます。
光源	プロジェクターの光源を表示します。
明るさ一定残時間	プロジェクターが光源の明るさを一定に保てる残りの時間の目安を表示します。プロジェクターの明るさ設定で「一定モード」が「オン」に設定されているときのみ表示されます。
温度レベル	プロジェクター内部の温度の状態を5段階で表示します。
メーカー	プロジェクターのメーカーを表示します。
型番	プロジェクターの製品型番を表示します。
説明	プロジェクターについての補足情報を表示します。
状態	プロジェクターのエラー情報を表示します。エラー情報にポイントを合わせると、エラーの対策が確認できます。
パスワード	プロジェクターの認証に失敗したときにパスワードを入力します。

している間のエラー履歴が確認できます。[保存] をクリックすると、エラー履歴をcsvファイルに書き出せます。

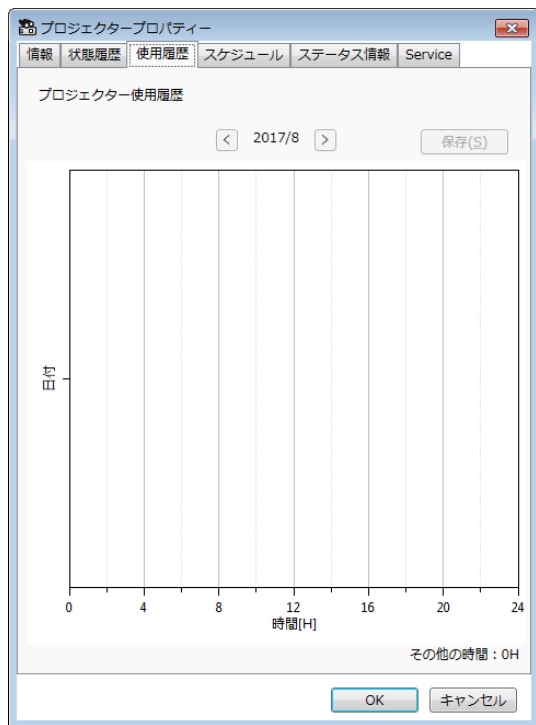


プロジェクタープロパティ - 状態履歴

[プロジェクタープロパティ] 画面で [状態履歴] タブをクリックすると、次の画面が表示されます。Epson Projector Managementで監視

プロジェクタープロパティ - 使用履歴

「プロジェクタープロパティ」画面で「使用履歴」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



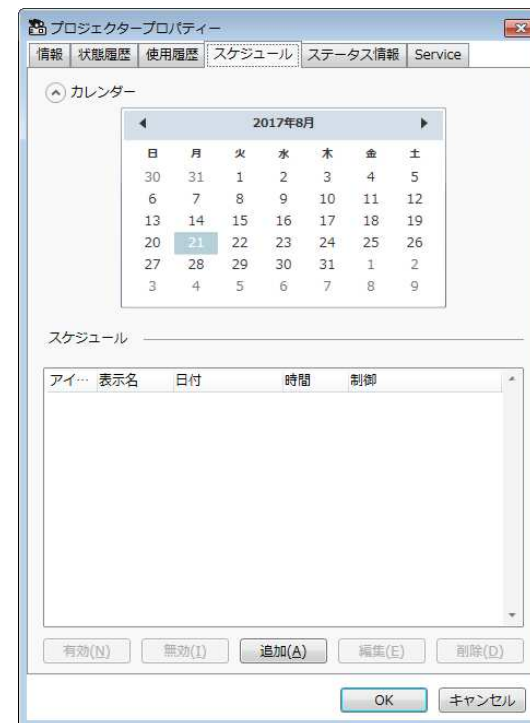
◀ 前月	前月のグラフを表示します。
▶ 翌月	翌月のグラフを表示します。
保存	表示中の履歴をcsvファイルに書き出します。
その他の時間	Epson Projector Managementで監視していない間の、プロジェクターの累積使用時間を表示します。

プロジェクタープロパティ - スケジュール


「プロジェクタープロパティ」画面で「スケジュール」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



ファームウェア更新、メニュー一括設定はこの画面では設定できません。「アップデートリスト」画面で設定してください。



表示/非表示 示	カレンダーの表示/非表示を切り替えます。
-------------	----------------------

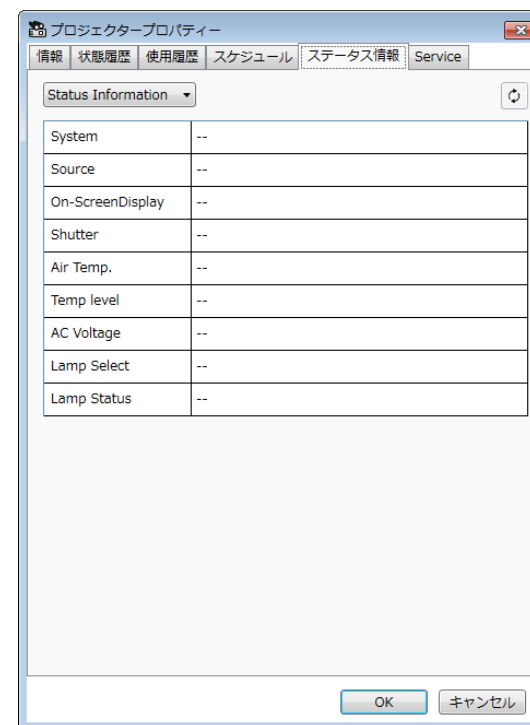
カレンダー	今日の日付には背景色が付き、白字で表示します。スケジュールが登録されている日付には背景色が付き、黒字で表示します。◀ をクリックすると前月/前年に、▶ をクリックすると翌月/翌年に移動します。
スケジュール	<p>スケジュール一覧を表示します。行の色の意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ : 有効なスケジュール ■ : 無効なスケジュール ■ : 選択していないスケジュール <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>  ・ スケジュールを右クリックして [コピー]、[貼り付け] を選択すると、選択したスケジュールを複製できます。 </p> <p> ・ ファームウェア更新、メニュー一括設定のスケジュールは表示されません。[アップデートリスト] 画面で確認してください。 </p> </div>
有効	選択したスケジュールを有効にします。
無効	選択したスケジュールを無効にします。
追加	新しいスケジュールを作成します。
編集	選択したスケジュールを編集します。
削除	選択したスケジュールを削除します。

▶ 関連項目

- ・ 「スケジュールを設定する」 [p.33](#)
- ・ 「ファームウェアの更新/メニューの一括設定」 [p.24](#)

プロジェクタープロパティー - ステータス情報

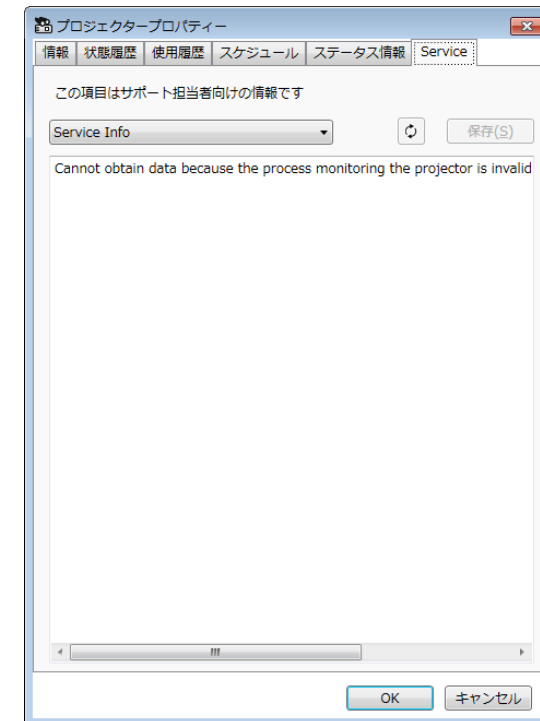
「プロジェクタープロパティー」画面で「ステータス情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。お使いのプロジェクターによって、取得できる情報が異なります。取得できない情報は「--」と表示します。



<div>XXXXXXXXXX</div> <div>ステータス情報</div>	表示する情報を次の一覧から選択して切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • Status Information • Source • Network Wired • Network Wireless • Maintenance • Version • Android TV（対応機種のみ）
<div>更新</div>	ステータス情報を更新します。

プロジェクタープロパティー - Service

〔プロジェクタープロパティー〕画面で〔Service〕タブをクリックすると、次の画面が表示されます。（サポート担当者専用の情報です。）

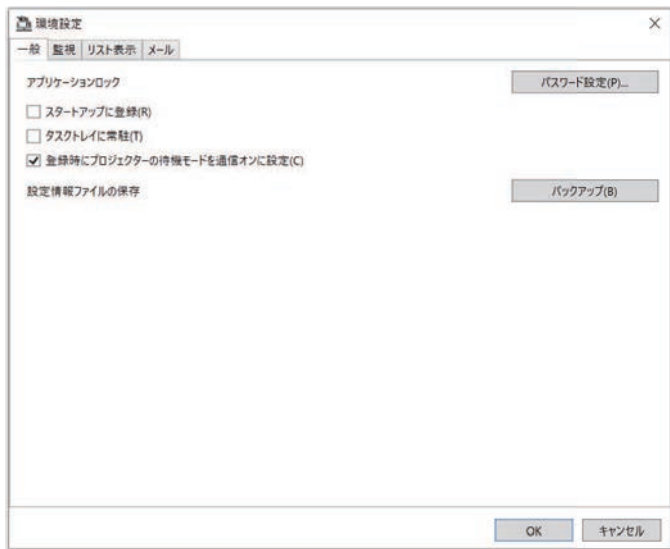


「ツール」メニューで「環境設定」をクリックすると、「環境設定」画面が表示されます。

- ▶ 関連項目
- ・「環境設定 - 一般」 [p.60](#)
 - ・「環境設定 - 監視」 [p.61](#)
 - ・「環境設定 - リスト表示」 [p.61](#)
 - ・「環境設定 - メール」 [p.62](#)

環境設定 - 一般

「環境設定」画面で「一般」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



アプリケーション ロック	「パスワード設定」を選択して、アプリケーションロック機能のパスワードを変更します。
-----------------	---

スタートアップに 登録	コンピュータの起動にあわせて、Epson Projector Managementが自動的に起動します。
タスクトレイに常 駐	Epson Projector Managementのウィンドウを閉じたり最小化しても監視を続けます。タスクトレイに表示するアイコンは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ : 異常なし・ : 異常あり
登録時にプロジェ クターの待機モー ドを通信オンに設 定	プロジェクター登録時に、プロジェクターメニューの「待機モード」を「通信オン」に設定します。（エプソン製プロジェクターのみ）
設定情報ファイル の保存	「保存」をクリックして設定ファイルのバックアップを作成します。バックアップファイルから設定を復元するときは、保存したzipファイルを解凍し、フォルダーごと次のディレクトリにコピーしてください。 C:\ProgramData\SEIKO EPSON CORPORATION\Epson Projector Management

環境設定 - 監視

〔環境設定〕画面で〔監視〕タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

更新間隔	プロジェクター情報の更新間隔を1～99分の範囲で設定します。多数のプロジェクターを監視する場合は、指定した時間内にすべてのプロジェクターの更新が終了するように、長めに間隔を設定してください。
グループViewへの温度レベル表示	〔グループView〕にプロジェクターの温度レベルを表示します。
ランプ警告時間通知	光源使用時間に基づき、プロジェクターを警告状態にするタイミングを設定します。
ファームウェアの更新を通知する	ファームウェアの更新情報を通知します。〔確認〕をクリックすると、登録されているプロジェクターで新しいファームウェアが利用可能かどうかを確認できます。

動作ログ情報を送信する	プロジェクターのログ情報をエプソンに送信するかどうかを選択します。
プロキシ設定	〔設定〕を選択してプロキシ情報を設定します。〔プロキシ設定〕ウィンドウで〔プロキシサーバーを使用する〕を選択して、プロキシサーバー情報を入力します（〔アドレス〕、〔ポート番号〕、〔ユーザー名〕、〔パスワード〕）。
ログ保存	〔プロジェクター使用履歴〕と〔状態履歴〕のログの保存期間を、それぞれ1～99カ月の範囲で設定します。
温度履歴	温度履歴グラフを表示します。

環境設定 - リスト表示

〔環境設定〕画面で〔リスト表示〕タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

リストの種類	編集するリストの種類を「詳細リスト」、「エラーリスト」、「アップデートリスト」から選択します。
リストの項目	<div>リストに表示する項目の表示/非表示や、項目の表示順を変更します。「表示可能な項目」で任意の項目を選択し、「表示する項目と順序」に追加できます。</div> <div><div>→</div>：「表示可能な項目」で選択した項目をリストに表示します。</div> <div><div>←</div>：「表示する項目と順序」で選択した項目をリストから非表示にします。</div> <div><div>↑</div>：「表示する項目と順序」で選択した項目をひとつ前に移動します。</div> <div><div>↓</div>：「表示する項目と順序」で選択した項目をひとつ後ろに移動します。</div>

- ▶ 関連項目
- ・「プロジェクトを監視する」

p.18

環境設定 - メール

「環境設定」画面で「メール」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

環境設定

一般

監視

リスト表示

メール

☐ メール通知機能を使用する(U)

メールサーバー

SMTPサーバー(S)

ポート番号(O)

25

☐ TLS認証を使用する(L)

☐ SMTP認証を使用する(M)

ユーザー名(N)

パスワード(P)

送信元メールアドレス(F)

送信先メールアドレス(G)

メールアドレス

追加(A)

編集(E)

テストメール(T)

削除(D)

OK

キャンセル

メール通知機能を使用する	プロジェクトの状態が変わったときに、登録されているアドレスに通知メールを送信します。
SMTPサーバー	SMTPサーバー名またはSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号として、1から65535までの有効な数値を入力します。初期値は25です。
TLS認証を使用する	TLS認証を有効にします。
SMTP認証を使用する	SMTP認証を有効にします。
ユーザー名	SMTP認証に使うユーザー名を入力します。

パスワード	SMTP認証に使うパスワードを入力します。
送信元メールアドレス	送信者のメールアドレスを入力します。半角英数字で512文字まで入力できます。
送信先メールアドレス	宛先を表示します。
追加	新規の宛先を追加します。
編集	選択した宛先を編集します。
テストメール	選択した宛先にテストメールを送信します。
削除	選択した宛先を削除します。

▶ 関連項目

- ・「通知メールを送る」 [p.37](#)

付録

Epson Projector Managementのアンインストール方法、制限事項などを説明します。

▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.65](#)
- ・「PJLinkの規格で監視・制御するときの制限事項」 [p.66](#)
- ・「一般のご注意」 [p.67](#)

Epson Projector Managementの更新、またはアンインストールは次の方法で行います。

▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 [p.65](#)
- ・「Epson Projector Managementをアンインストールする (Windows)」 [p.65](#)

ソフトウェアの最新バージョンを入手する

ソフトウェアの最新バージョンは、エプソンのホームページからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc にアクセスしてください。

Epson Projector Managementをアンインストールする (Windows)

次の方法でEpson Projector Managementをアンインストールします。



ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** 起動中のアプリケーションをすべて終了します。
- 3** [スタート] をクリックして、すべてのアプリを表示します。

- 4** [Epson Projector Management Ver.X.XX] を右クリックして、[アンインストール] を選択します。

- 5** 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

PJLinkの規格で監視・制御しているプロジェクターでは、次の機能を利用できません。

- ・ 自動検索（PJLink Class1対応のプロジェクターのみ）
- ・ 入力ソースボタンでの入力切り替え
- ・ スケジュール
- ・ メール通知
- ・ メッセージ配信
- ・ ログ保存（プロジェクター情報は除く）
- ・ ファームウェアの更新
- ・ メニューの一括設定
- ・ 登録済みプロジェクターの置き換え検出

他社製プロジェクターからは次の情報を取得できません。

- ・ 光源使用時間
- ・ 明るさ一定残時間
- ・ 温度レベル
- ・ 状態履歴
- ・ 使用履歴
- ・ ステータス情報
- ・ Service
- ・ 温度履歴

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 [p.67](#)
- 「表記について」 [p.67](#)
- 「商標について」 [p.67](#)
- 「著作権について」 [p.67](#)

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

表記について

- Microsoft® Windows® 10 operating system
- Microsoft® Windows® 11 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

商標について

EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows ロゴ、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2023 Seiko Epson Corporation

2023.5 414418900 JA